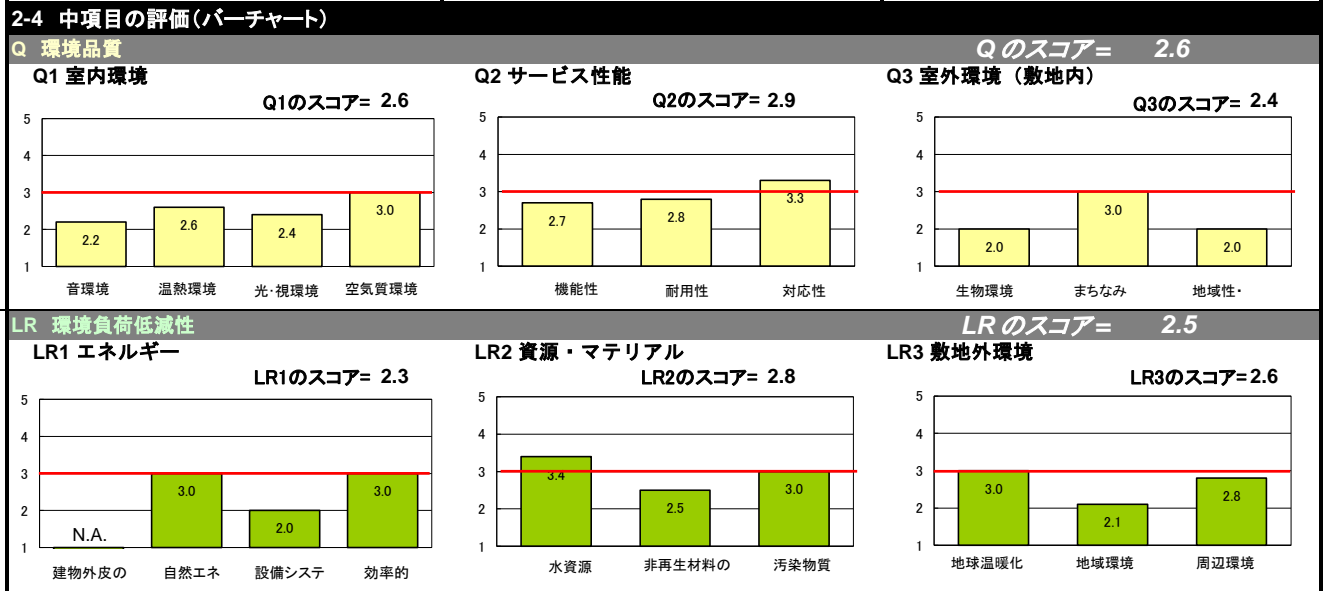
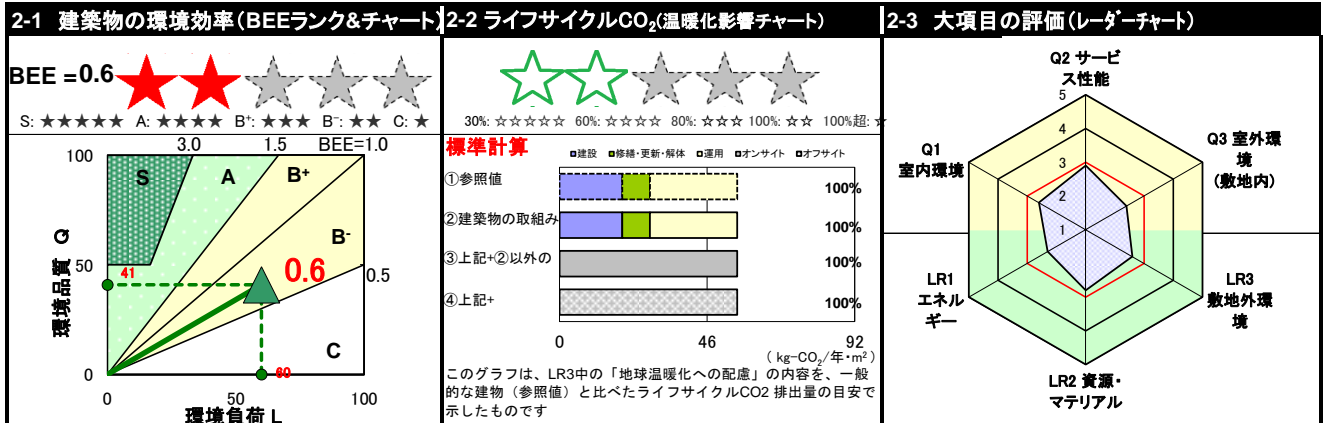


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新ポール棟	階数	地上3F
建設地	大阪府堺市中区東山664他平井584	構造	S造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年6月1日
敷地面積	14,601 m <sup>2</sup>	作成者	木村小太郎
建築面積	1,277 m <sup>2</sup>	確認日	2019年6月10日
延床面積	3,653 m <sup>2</sup>	確認者	木村小太郎

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地の北、東側を境界から建物を後退、南側は現況の自然、田園に調和する様に緑地を維持するよう環境に配慮した。	0
<b>Q1 室内環境</b> 窓を大きくして、採光、換気に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 天井を高く、作業スペースを広くして快適性に配慮した。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内周囲に緑地を配置、環境に配慮した。	
<b>LR1 エネルギー</b> 窓を大きくして、自然採光、換気に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器を使用、節水に配慮した。
<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内周囲に出来るだけ緩衝帯を設け、環境に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	新ボール棟	BEE	BEEランク
	建設地	堺市中区東山664番他、平井584他	0.6	B-
	主用途/延床面積	工場 / 3,653.00 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
エネルギー削減	—	● ● ● ● ●
建物の断熱性	—	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.0	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	1.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	0.0	—
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	0.0	—
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	1.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	1.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	5.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	2.0	—

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	